

索道事業安全報告書（2015年度）



株式会社鹿島槍

鹿島槍スポーツヴィレッジ [鹿島槍スキー場]

- 第1クワッドリフト
- 第2ペアリフト
- 第3クワッドリフト
- 第5ペアリフト
- 第6クワッドリフト
- 第7ペアリフト
- 第8ペアリフト
- 第10ペアリフト



Kashimayari SportsVillage
Ski・Snowboard・Trekking・Run・Bike

1. 鹿島槍スポーツヴィレッジご利用の皆様へ

平素は当スキー場をご愛顧いただき、また当索道事業に対してご理解いただきまして誠に有難うございます。

当社は、スキー場の運営に関するあらゆる問題を解決し、非日常的な時間と空間を演出することにより、一人でも多くの方に自然の素晴らしさ、ウィンタースポーツの楽しさを味わって頂くことを最大の使命としており、ご来場いただける皆様のホームグレンデとして、また、人と自然の接点となれるように、明るく、楽しく、元気な、そして何より安全なスキー場であり続けたいと考えております。「安全は索道事業の根幹である」との信念のもと安全を最優先する意識を徹底し、安全性向上に取り組むとともに法令を遵守しスキー場運営を行って参りたいと考えております。



本報告書は鉄道事業法に基づき、輸送の安全確保のための当スキー場の取り組みや安全の実態について、お客様をはじめあらゆるステークホルダーの皆様にご理解いただくために作成いたしました。皆様からのご意見を当スキー場索道事業の安全輸送に役立てたく、頂戴できれば幸いです。

株式会社 鹿島槍
鹿島槍スポーツヴィレッジ
代表取締役社長 宮田 春男
安全統括管理者 長崎 真至

2. 安全基本方針と安全目標

安全基本方針

当社の企業理念として、人命を尊重し、安全と健康を重視することを掲げております。さらに当スキー場の経営理念の第一は安全確保においております。当社役員は安全第一の意識をもって索道事業活動を行える体制の整備に努めるとともに、索道施設及び職員を総合活用して輸送の安全を確保するため『安全基本方針』を次のように掲げております。

- (1) 一致団結して輸送の安全の確保に努めます。
- (2) 輸送の安全に関する法令及び関連する規程をよく理解するとともにこれを遵守し、厳正、忠実に職務を遂行します。

- (3) 常に輸送の安全に関する状況を理解するように努めます。
- (4) 職務の実施に当たり、推測に頼らず確認の励行に努め、疑義のある時は最も安全と思われる取扱いをします。
- (5) 事故・災害等が発生したときは、人命救助を最優先に行動し、速やかに安全適切な処置をとります。
- (6) 情報は漏れなく迅速、正確に伝え、透明性を確保します。
- (7) 常に問題意識を持ち、必要な変革に果敢に挑戦します。

安全目標（2015 年度）

当社では全社一丸となった安全管理体制の強化を推進しており、今後においても全社一丸となった安全最優先の意識の高揚を図って参ります。

また、過去に発生した事故のみではなく、危険の予知・予測、事故には至らなかったヒヤリハット事例を漏れなく収集し、他の事故情報と比較して対策を講じる体制を整備いたします。

索道輸送安全目標（2015 年）

- 目標 1 : 人身障害事故発生 0 件
- 目標 2 : 索道保安設備から起因する事故 0 件
- 目標 3 : 索道スタッフの不安全行動から起因する事故 0 件

3. 事故等の発生状況と運休状況

索道輸送事故	1 件
インシデント	0 件
災害等	1 件

索道輸送事故

- 1、 昨年 12 月 27 日午前 10 時 30 分 第 10 ペアリフトにて第 7 号支柱を通過した 7 番搬器（男性スノーボーダー 2 名乗車）がワイヤーを滑動し後方 8 番搬器（男性スノーボーダー 2 名乗車）に衝突。 衝突の際、8 番搬器乗車中のお客様に 7 番搬器の折れたタンク破片が右側側頭部に当たり裂傷を負う搬器衝突事故が発生しました。

搬器滑動の原因は、搬器取り付け作業時スプリングパッケージ部ロックボルトの閉め忘れによるものであり、規定の握索力が得られずワイヤー上を滑動し搬器衝突する事態となりました。 負傷されたお客様、並びに当該リフトご利用のお客様には深くお詫び申し上げます。

当社では、今後二度と同じ事故が発生しないよう、安全管理体制を今一度見直し、日々の整備点検内容や作業方法等を改善致します。

第10ペアリフトのような固定循環式の握索部につきましては、リフト握索部スプリングパッケージとロックボルトに合いマークを施し、より目視点検が行いやすい状態に改善致します。この合いマークを元に日々の始業点検時に全搬器の握索部を点検して参ります。また、定期的に技術管理者による握索部の総点検を行い、搬器握索部を含めたリフトの総点検を実施してまいります。

災害等

1. 2月11日 12時10分頃、第10ペアリフトにて受電設備 開閉器GABが突如解放しリフト運転不能となり、お客様を救助する事態が発生致しました。救助されたお客様、並びに当該リフトご利用のお客様には深くお詫び申し上げます。GAB解放の原因につきまして、関係各所による調査を2度にわたり実施しました結果、落雪等による衝撃によりGABが解放したとの報告がありました。原因追究のため、営業再開までに20日運休の措置を取らせて頂きました。今後このようなトラブルが起こらないよう、電気設備においても関係機関と連携を図りながら保守管理に努めて参ります。

リフト運休状況につきましては、第10ペアリフトが搬器衝突及び開閉器トラブルにおける対応含め25日間運休しております。

また、強風や落雷恐れ等による一部リフトの一時的な運転見合わせが数回ありました。

今後も細心の注意を払い、安全運行を推進しますが、雷や暴風雨雪等の自然災害が発生した場合、安全のため運行を一時見合わせる場合がありますので、皆様のご理解とご協力をお願いいたします。

4. 索道輸送の安全確保に関する当スキー場の取組み

索道スタッフ教育

索道安全運行マニュアルを作成し新人研修およびシーズン開始時に安全運行に関する研修・救助訓練を実施しています。研修は経験者、未経験者に関係なく、スタッフ全員が研修を受けられるよう数回に分けて実施し、研修は安全運行マニュアルの修得及び救助訓練に加え、サービス研修や様々な事故事例をもとにした、トラブル対応などを含めた内容にて実施しています。

シーズン中においても定期的なミーティングを行うとともに、トラブルやヒヤリハット事例を常時収集・共有し対策を講じています。また、他スキー場も含めた事故・トラブル事例も速やかに水平展開し注意喚起と安全向上に努めています。



グループ会社での取組み

日本スキー場開発(株)グループ会社合同で定期的にミーティングを行い、事故・トラブル・ヒヤリハットの事例や対策、技術情報の共有を行うとともに、相互で業務監査を行い、安全性の更なる向上に努めています。

お客様の安全対策

場内注意喚起掲示板を設置しています。また、場内放送内容や乗客係・誘導係の活動を常にチェック、見直しを行い、安全な乗車を促しています。

緊急時の対応訓練

索道運行停止時の救助訓練、予備原動操作訓練等を実施しています。

緊急時に連携をとる近隣救急施設

- 大町消防署
- 大町総合病院

5. 索道保安設備の維持管理・改修

整備細則に基づき点検、整備及び検査を実施しました。
今年度の各リフトは主に以下の整備を実施しました。

■ 第1クワッドリフト

索受・索輪交換整備
油圧緊張・ギアボックスオイル交換
握索機 分解整備

■ 第2ペアリフト

索受・索輪交換
ユニバーサルジョイント交換

■ 第3クワッドリフト

索受・索輪交換
モーター速度制御ギアボックス分解整備

■ 第5ペアリフト

索受・索輪交換
減速機 オーバーホール
スプリングパッケージ分解整備

■ 第6クワッドリフト

索受・索輪交換
減速機・モーターオーバーホール
握索機 分解整備

■ 第7ペアリフト

索受・索輪交換
緊張シリンダー交換
スプリングパッケージ分解整備

■ 第8ペアリフト

索受・索輪交換
減速機・油圧緊張ユニット油交換

■ 第10ペアリフト

索受・索輪交換
ワイヤー切詰工事
減速機 オイル交換

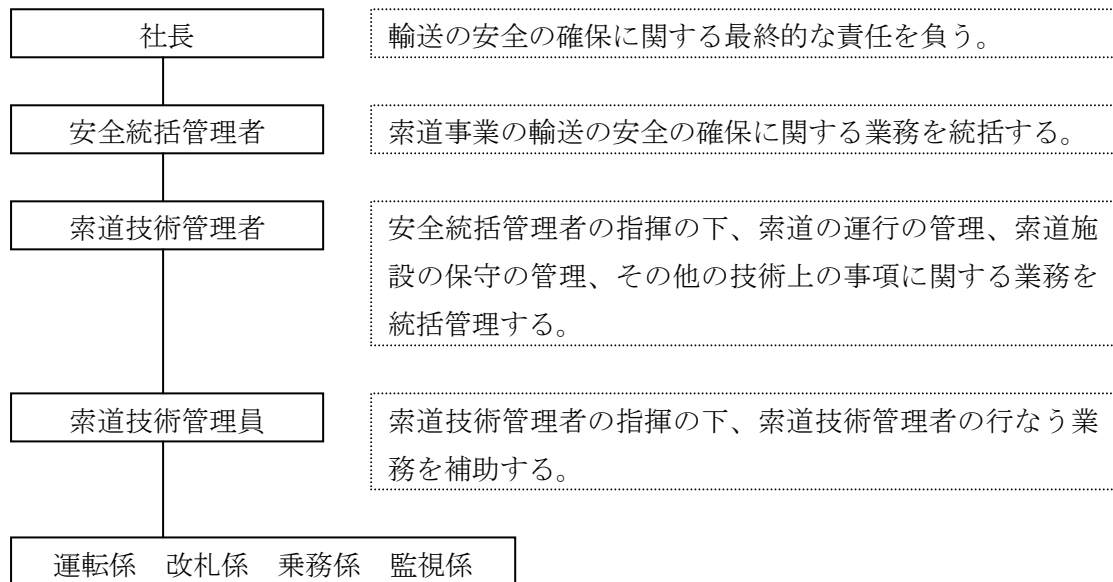
索道の整備状況



また、中長期整備計画を策定し、索道設備の永続的な維持管理に努めています。

6. 当スキー場の安全管理体制

平成 18 年 10 月に「安全管理規程」を制定し、社長をトップとする安全管理組織を構築し、各責任者の責務を明確にしています。



役員による場内巡回

当社役員が定期的に当スキー場を巡視し、スタッフとの意見交換を通じて安全管理状況を確認しています。上記の安全管理体制により、安全マネジメントの PDCA サイクル機能の検証、内部監査等を通じて定期的に確認し、その結果により適時改善を行っています。

7. 利用者の皆様の連携とお願い

(1) お客様の声をかたちにしています

場内 3 ヶ所にお客様の声を聞かさせていただけるようご意見箱を設置し、安全やサービスレベルの向上の参考とさせて頂いております。

ご来場の際にお気づきの点がございましたら何なりとお知らせください。

また、当スキー場ホームページ <http://www.kashimayari.net/> でもお待ちしております。

(2) ゲレンデ内の注意事項とお願い

スキー・スノーボードはもともと雪山の中で大自然と共に楽しむスポーツです。その中には事故につながる恐れのある要素が多くあります。標示のあるなしにかかわらず、スキー場のコース内外の状況をよく判断し、事故を起こさないよう、また自然災害に巻き込まれないよう十分注意して滑走して下さい。

当スキー場では、事故をなくすよう常に努めていますが、安全のために大切なのは、何よりもまずスキーヤー・スノーボーダーの皆様の注意深い行動であることを忘れないで下さい。

1. 吹雪、強風、雨、霧、雷などの天候にはご注意ください。
2. 急斜面、凸凹、地形に注意願います。
3. アイスバーン、雪崩など雪の状態に注意願います。
4. 岩石、立木、自然の障害物への衝突に注意願います。
5. リフト施設、建物、雪上車輛など人工の障害物に注意願います。
6. 他のスキーヤー・スノーボーダーとの接触に注意願います。
7. お客様に合ったコースを選び怪我には十分注意願います。
8. スキー場内では、パトロール、係員の指示や忠告に従ってください。
9. 当スキー場管理区域外での滑走は責任を負いかねます。
10. 当スキー場ではこの告知及びスキー場の行動規則の無視、軽視による事故には責任を負いかねます。
11. 他人に迷惑を与えるスキーヤー・スノーボーダーには退場していただく場合があります。

(3) リフト乗降時の注意事項

リフトご利用の際には係員の誘導に従い、落ち着いてご乗車下さいますようお願い申し上げます。

8. ご連絡先

本報告書へのご感想、当スキー場への安全に関する取組みに対するご意見をお待ちしております。

〒398-0001

長野県大町市平鹿島槍黒沢高原

鹿島槍スポーツヴィレッジ

索道お客様係

Tel 0261-23-1231 Fax 0261-22-2065

E-mail kashimayari@kashimayari.net



Kashimayari Sports Village
Ski・Snowboard・Trekking・Run・Bike